



算数魔術学校 へようこそ!

~世界を救う魔法の数字~



ある日、平和な町に体長が
「187825cm」もある巨大モン
スター「ミリミリオン」が現れた!

人々はその大きさにパニックに
なっています。

正確な大きさが分からないと、勇
者たちも武器の準備ができません。

そこで見習い魔術師の出番です!



問題1:「勇者に伝えろ!モンスターの大きさは“およそ”何メートル?」

「187825cm」上から2桁のがい数にして、「およそ〇〇メートル」と分かりやすく伝えてあげましょう。

センチメートルをメートルに直す計算も必要です。

*わかった人は、富士山 🗻 と比べてみよう!



問題2:「お決まりの最終形態!？」

ミリミリオンが攻撃を受けて、本気を出し始めたぞっ! 体長もさらに巨大化して「6543510cm」になったぞ!

上から4桁のがい数にして、「およそ〇〇メートル」と分かりやすくしましょう。

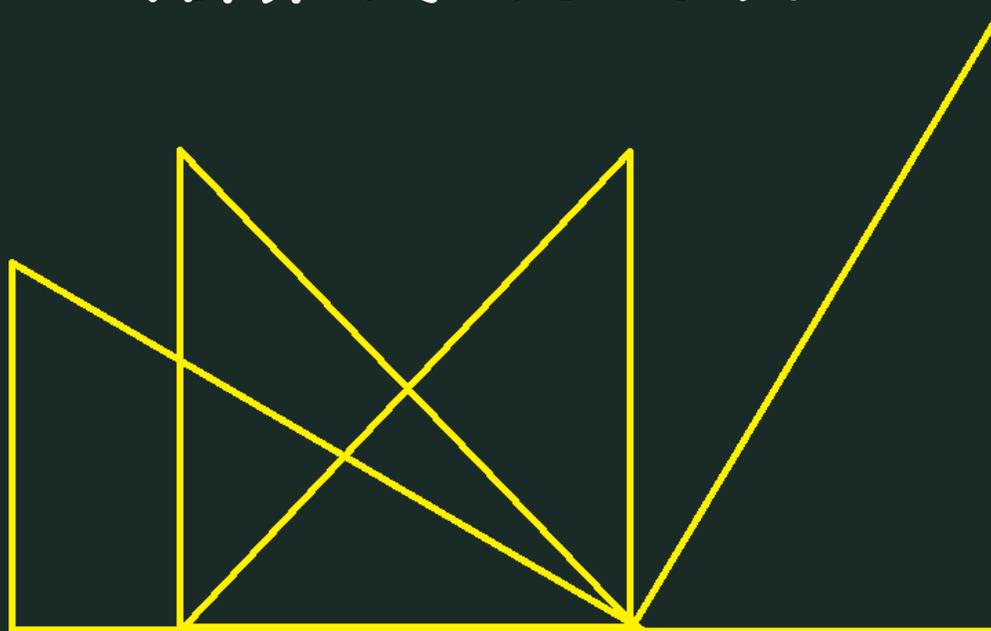
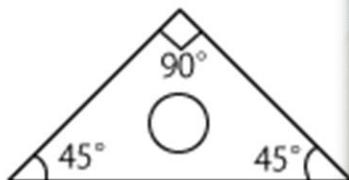
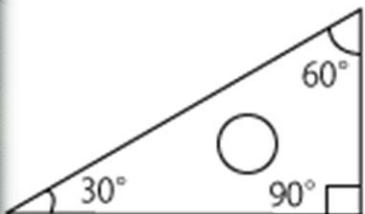
センチメートルをメートルに直す計算も必要です。

*わかった人は、エベレスト  と比べてみよう!

問題3:「平行な聖なる光を放て!」

魔法陣の中心には、2種類の三角定規が組み合わさった図形があります。「あ」の角度は何度でしょう?

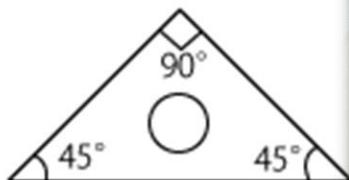
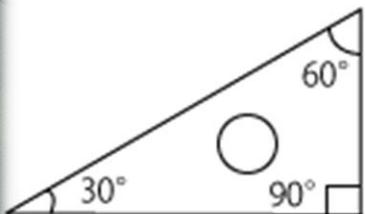
分度器は使えません。それぞれの図形の性質を思い出して、計算で求めましょう!



問題3:「平行な聖なる光を放て!」

魔法陣の中心には、2種類の三角定規が組み合わさった図形があります。「あ」の角度は何度でしょう?

分度器は使えません。それぞれの図形の性質を思い出して、計算で求めましょう!



問題4：「平行な聖なる光を放て！」

魔法陣からモンスターに聖なる光を放ちます。
しかし、光は「2本の平行な線」でないと効果が
ありません。

三角定規を2枚使って、絶対に交わらない平行
な光の線を引く方法を実演してみましょう。

*わかった人は、3本目の光の書き方も考えてみてね！



問題4：「平行な聖なる光を放て！」

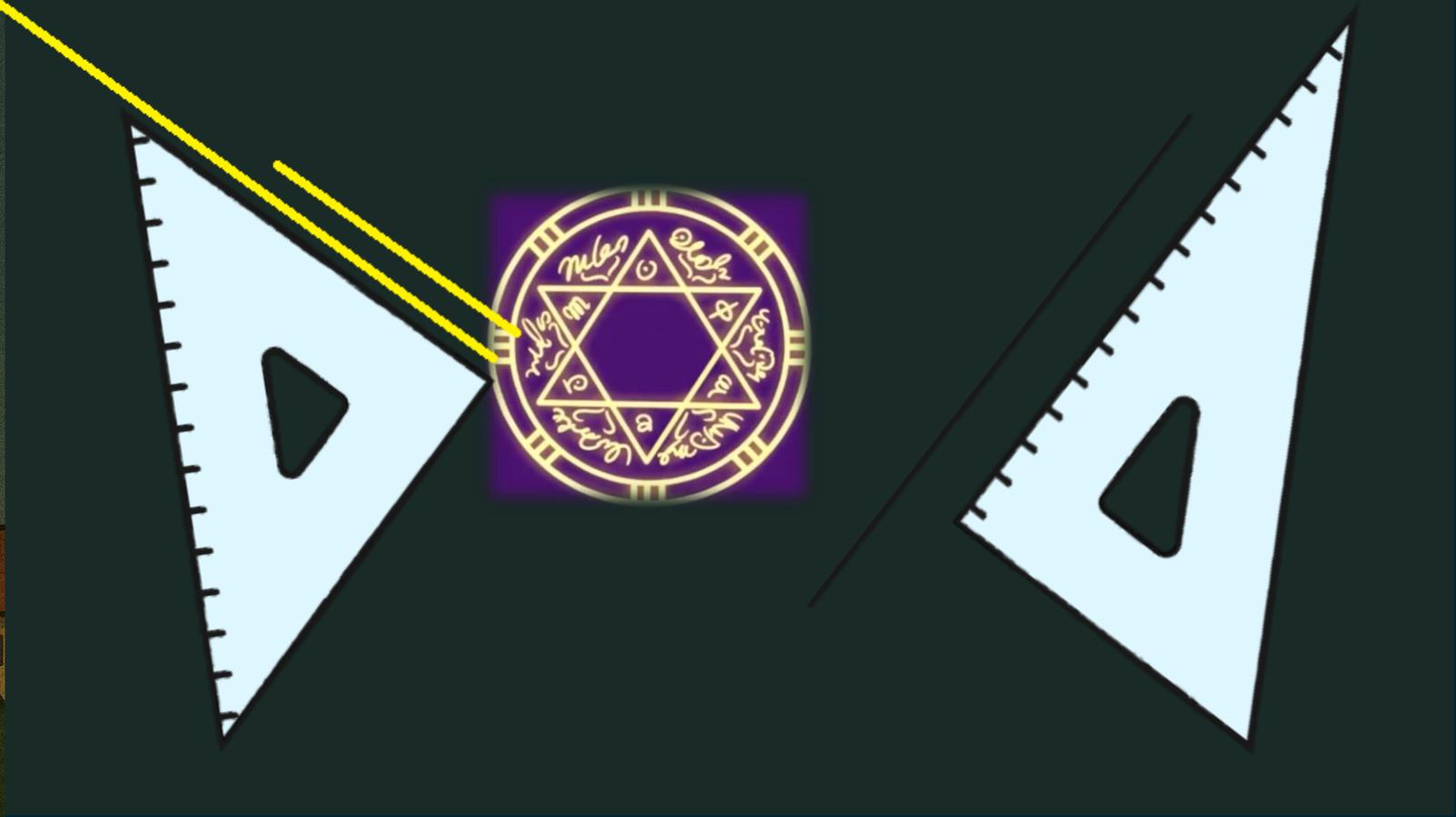
魔法陣からモンスターに聖なる光を放ちます。
しかし、光は「2本の平行な線」でないと効果が
ありません。

三角定規を2枚使って、絶対に交わらない平行
な光の線を引く方法を実演してみましょう。

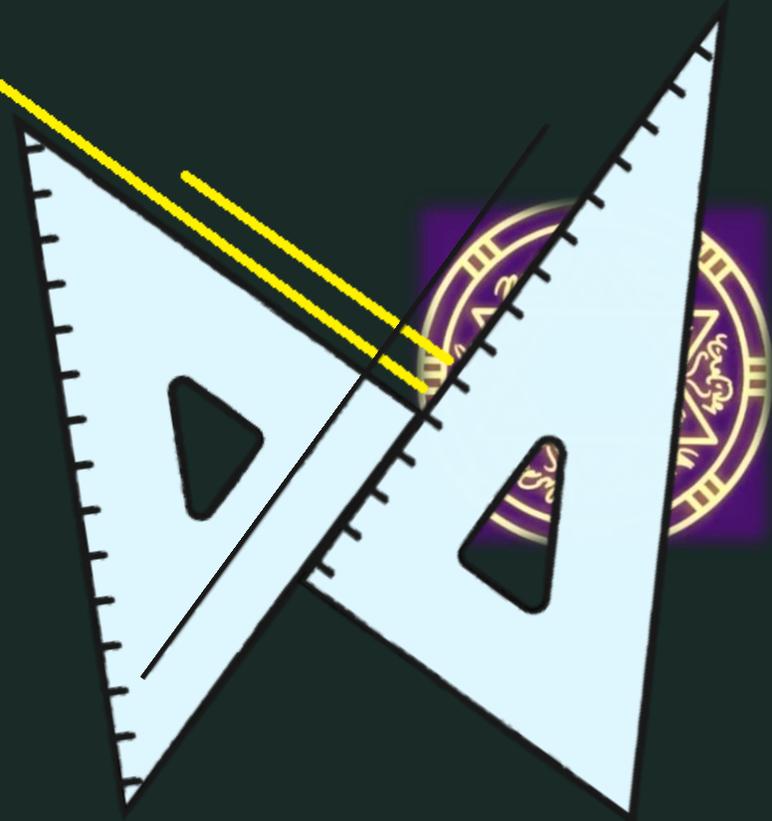
*わかった人は、3本目の光の書き方も考えてみてね！



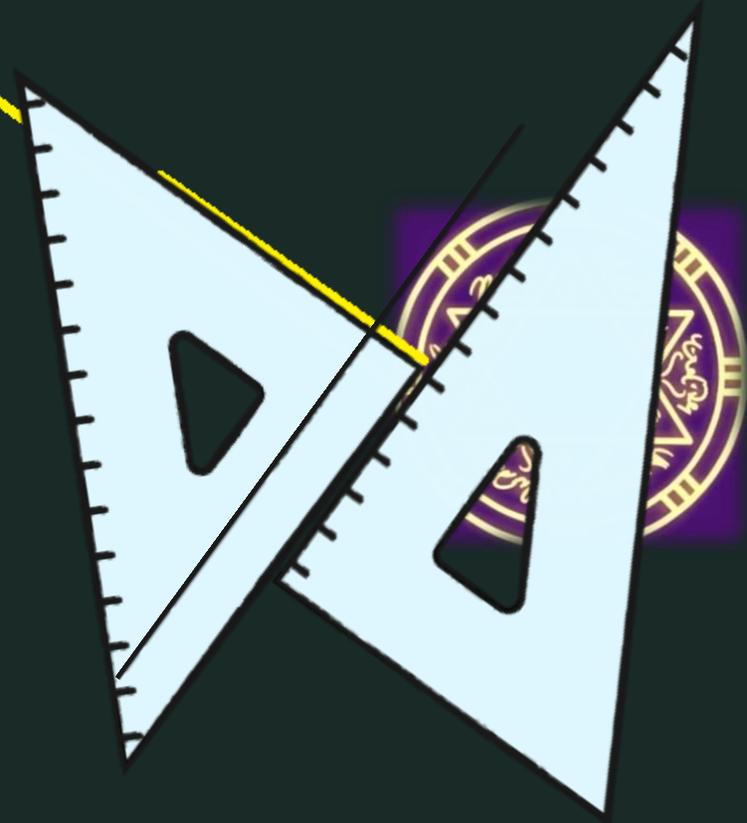
問題4:「平行な聖なる光を放て!」



問題4:「平行な聖なる光を放て!」



問題4:「平行な聖なる光を放て!」



問題6:「究極のポーション作り!」

モンスターとの戦いで傷ついた勇者を回復させるため、究極の回復薬「ミラクルポーション」を作ります。

材料の分量を1滴でも間違えると、ただの草むしりの汁になってしまう、とても繊細な作業です。



問題6:

「0.1gの戦い!調合を成功させろ!」

レシピには

「賢者の石のかけら:2.5g」

「妖精の涙:18.8g」と書いてあります。

合計で何gになるでしょう?



問題7:

「ピザで魔力回復!でも…」

ポーション作りで疲れたので、魔女がピザを焼いてくれました。

一緒に食べることになりましたが、

勇者「8等分したピザの、8分の2を食べたよ!」

魔女「私は4等分したピザの4分の1を食べたわ!」

さて、食べた量が多いのはどちらでしょう?

